

仕事の振り返りシート（令和 6 年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	「小さな親切」運動佐野支部支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	生涯学習課		「さな親切」運動佐野支部支援事業		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	社会教育係				項	4	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	4212	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	1	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり			開始年度	S59	実施方法	直営	
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり				終了年度		事業分類	支援事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進							
	基本事業	2	学習成果を活かす取組							
			社会教育法（第11条） 佐野市社会教育関係団体 補助金交付要領							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	「小さな親切」運動佐野支部に補助金を交付している。補助金は団体の運営費補助金的性格のものである。 同支部は佐野市内における「小さな親切」運動の普及推進を図り、もっと明るく住みよい郷土の建設に寄与することを目的として設立した団体である。
------	--

（2）目的

目的 （本事業によって成し遂げたい状態）	「小さな親切」運動佐野支部の円滑な運営と財政の健全化を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		団体の補助金執行率	%	100	100	100	100	100

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 （R6年度に行った主な活動内容）	【市の活動】 ・補助金交付 【「小さな親切運動」佐野支部の活動】 ・小・中・義務教育学校交歓会の開催 ・ポスター、標語の作成等による「小さな親切」運動の普及等	活動指標	単位	R4	R5	R6
		補助団体数	団体	1	1	1
		事業費計	千円	50	50	50
		一般財源	千円	50	50	50
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 （定量及び定性）	団体の目的である、佐野市内における「小さな親切」運動を普及推進を支援することができた。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		団体の補助金執行率	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 （R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数	0指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標		費用の増減無し		○	
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した			
	指標全体	効果は変わらない					

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 6 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

引き続き補助金の交付と合わせ、適時適切な助言や支援を行う。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 7 年度及び令和 8 年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

仕事の振り返りシート（令和 6 年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	葛生ジュニアリーダースクラブ支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	生涯学習課				葛生ジュニアリーダース支援事業	款	10	新規or継続	継続事業
	係	社会教育係					項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	4212	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	1	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり			社会教育法（第11条） 佐野市社会教育関係団体 補助金交付要領	開始年度	S47	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり				終了年度		事業分類	支援事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進							
	基本事業	2	学習成果を活かす取組							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	葛生ジュニアリーダースクラブへの運営補助をすることにより、団体の事業活動を充実・安定させ、団体の活動により、本市の青少年の健全育成を図る。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	葛生ジュニアリーダースクラブの円滑な運営と財政の健全化を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		団体の補助金執行率	%	100	100	100	100	100

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	【市の活動】 ・補助金交付 【葛生ジュニアリーダースクラブの活動】 ・子どもを対象とした主催事業の開催（チャレキャン塾） ・市の各種事業に対する参加協力等	活動指標	単位	R4	R5	R6
		補助団体数	団体	1	1	1
		事業費計	千円	150	150	150
		一般財源	千円	150	150	150
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	団体の活動を安定充実させ、本市における社会教育の推進を図ることができた。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		団体の補助金執行率	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R6とR5の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標		費用の増減無し		○	
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した			
	指標全体	効果は変わらない					

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 6 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

引き続き補助金の交付と合わせ、適時適切な助言や支援を行う。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 7 年度及び令和 8 年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

仕事の振り返りシート（令和 6 年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	佐野ユネスコ協会支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し	
	課	生涯学習課				款	10	新規or継続	継続事業	
	係	社会教育係				項	4	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	4212	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	1	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり			開始年度	S48	実施方法	直営	
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり				終了年度	-	事業分類	支援事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進							
	基本事業	2	学習成果を活かす取組							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	佐野ユネスコ協会へ補助金を交付することにより、団体の事業活動を充実・安定させ、団体の活動により本市の社会教育の推進を図る。 佐野ユネスコ協会は、ユネスコ憲章の精神に基づき、教育・科学・文化を通じて国際理解と国際協力を進め、世界の平和に貢献するとともに、あわせて地域社会の向上と会員相互の親睦を図ることを目的として、日々活動している。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野ユネスコ協会の円滑な運営と財政の健全化を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		団体の補助金執行率	%	100	100	100	100	100

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	【市の活動】 ・補助金交付 【佐野ユネスコ協会の活動】 ・夏のキャンペーン（平和の民話語り、平和の鐘を鳴らす運動） ・ユネスコ世界遺産移動写真展 ・ユネスコスクールや小中学校・高校との連携 ・世界寺子屋運動（書きそんじハガキ回収運動、募金活動） ・音楽委員会コンサート ・50周年事業式典	活動指標	単位	R4	R5	R6
		補助団体数	団体	1	1	1
		事業費計	千円	70	70	70
		一般財源	千円	70	70	70
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	支援により、団体の目的である、世界の平和への貢献、地域社会の向上と会員相互の親睦の実施を図ることができた。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		団体の補助金執行率	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R6とR5の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標		費用の増減無し		○	
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した			
	指標全体	効果は変わらない					

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 6 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

引き続き補助金の交付と合わせ、適時適切な助言や支援を行う。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 7 年度及び令和 8 年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

事業名	佐野市原水爆禁止協議会支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	生涯学習課		佐野市原水爆禁止協議会		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	社会教育係		支援事業		項	4	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	4212	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	1	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり			開始年度	S47	実施方法	直営	
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり				終了年度	-	事業分類	支援事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進							
	基本事業	2	学習成果を活かす取組							
			社会教育法(第11条)、佐野市原水爆禁止協議会補助金交付要領							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野市原水爆禁止協議会へ補助金を交付することにより、団体の事業活動を充実・安定させ、団体の活動により本市の社会教育の推進を図る。 佐野市原水爆禁止協議会は、平和のためすべての国の原水爆禁止並びに被爆者救護の為に努力し援助を行うことを目的として、日々活動している。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市原水爆禁止協議会の円滑な運営と財政の健全化を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		団体の補助金執行率	%	100	100	100	100	100

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	【市の活動】 ・補助金交付 【佐野市原水爆禁止協議会の活動】 ・被爆者救済カンパ活動 ・原水爆禁止世界大会（広島大会）への派遣 ・広島及び長崎の被爆写真の展示（市民活動スペース）等	活動指標	単位	R4	R5	R6
		補助団体数	団体	1	1	1
		事業費計	千円	50	50	50
		一般財源	千円	50	50	50
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	支援により、団体の目的である、平和のためすべての国の原水爆禁止並びに被爆者救護の為に努力・援助の実施を図ることができた。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		団体の補助金執行率	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断		効果		
効果 (R6とR5の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標		費用の増減無し		○	
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した			
	指標全体	効果は変わらない					

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 6 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

引き続き補助金の交付と合わせ、適時適切な助言や支援を行う。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 7 年度及び令和 8 年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

仕事の振り返りシート（令和 6 年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	佐野市子ども会連合会支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	生涯学習課		佐野市子ども会連合会支援		款	10	新規or継続	継続事業
	係	社会教育係		事業		項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	4212	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり	社会教育法(第11条)、佐野市社会教育関係団体補助金交付要領		開始年度	S50	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり			終了年度	-	事業分類	支援事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進						
	基本事業	2	学習成果を活かす取組						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	佐野市子ども会連合会へ補助金を交付することにより、団体の事業活動を充実・安定させ、本市の社会教育の推進を図る。 佐野市子ども会連合会は、市内26地区の子ども会育成会と連携し、子ども会育成会活動の充実と子どもたちの健全育成を図ることを目的として、日々活動している。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市子ども会連合会の円滑な運営と財政の健全化を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		団体の補助金執行率	%	100	100	100	100	100

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	【市の活動】 ・補助金交付 ・事務局 【佐野市子ども会連合会の活動】 ・子ども会安全共済会への加入（通年） ・子ども会ジュニアリーダー研修会（6月22日） ・佐野かるた取り大会（11月30日） ・子ども会育成者研修講座（中止）	活動指標	単位	R4	R5	R6
		子ども会安全共済会加入者数(小学生)	人	5,010	4,857	4,625
		子ども会ジュニアリーダー研修会参加者数	人	0	0	24
		佐野かるた取り大会参加者数	人	0	66	89
		事業費計	千円	1,010	1,050	1,050
		一般財源	千円	1,010		
		特定財源（国・県・他）	千円		1,050	1,050
		（うち受益者負担）	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	子ども会育成会活動の充実と子どもたちの健全育成を図ることができた。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		団体の補助金執行率	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R6とR5の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標		費用の増減無し	○		
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した			
	指標全体	効果は変わらない					

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 6 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

「子ども会安全共済会への加入」、「子ども会ジュニアリーダー研修会」や「かるた取り大会」など団体の活動を支援した。「子ども会育成者研修講座」は実施しなかったの、事業の在り方について団体と検討していく。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 7 年度及び令和 8 年度の取組

<input checked="" type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input checked="" type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 事業の在り方、開催方法等について、佐野市子ども連合会と話し合いながら進めていく。
--	--

仕事の振り返りシート（令和 6 年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会佐野支部支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	生涯学習課				款	10	新規or継続	継続事業
	係	社会教育係				項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	4212	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり	社会教育法(第11条)、栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会佐野支部補助金交付要領		開始年度	S61	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり			終了年度	-	事業分類	支援事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進						
	基本事業	2	学習成果を活かす取組						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会佐野支部へ補助金を交付することにより、団体の事業活動を充実・安定させ、団体の活動により本市の社会教育の推進を図る。 栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会佐野支部は、家庭教育振興のために会員相互の研修及び情報交換、子育て支援を行うことを目的として、日々活動している。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会佐野支部の円滑な運営と財政の健全化を図る。
-------------------------	--

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
団体の補助金執行率	%	100	100	100	100	100

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	【市の活動】 ・補助金交付
	【栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会佐野支部の活動】 ・支部研修会 ・安足ブロック研修会 ・団体の活動拠点での自主活動（保健センターやこども国等でのボランティア活動など） 等

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R4	R5	R6
補助団体数	団体	1	1	1
事業費計	千円	60	60	60
一般財源	千円	60	60	60
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	支援により、団体の目的である、家庭教育振興のための会員相互の研修及び情報交換、子育て支援の実施を図ることができた。
------------------	---

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
団体の補助金執行率	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R6とR5の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標		費用は下がった		
	効果が下がった指標数	0指標		費用の増減無し	○	
	指標全体	効果は変わらない		費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 6 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

引き続き補助金の交付と合わせ、適時適切な助言や支援を行う。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 7 年度及び令和 8 年度の取組

取組説明
<div><input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）</div>

事業名	楽習出前講座開催事業	実施計画事業or一般事業		実施計画事業	市長公約	1-①	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性		SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	生涯学習課				款	10	新規or継続	継続事業
	係	生涯学習係				項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	4212	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		事業期間	開始年度	H8	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり			終了年度	-	事業分類	イベント等開催事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進						
	基本事業	2	学習成果を活かす取組						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	5人以上の団体・グループ等の要望に応じて、市民が自主的に運営する講座に、楽習講師及び市職員を派遣し、講話や実習などを行う。講座内容は、広報さの・市ホームページ・生涯学習メニューパンフレットにより周知する。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	学習グループは、学習の機会及び市民と交流する機会を確保することができる。 楽習講師は、学習成果を発表する機会及び市民と交流する機会を確保することができる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		出前講座実施回数	回	100	100	110	120	130
		出前講座登録メニュー数	講座	220	220	225	230	235

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	●楽習講師登録者数：107 【個人】82人【団体】25団体 ●楽習出前講座登録数：190 【楽習講師編】150講座【行政編】40講座 ●楽習出前講座実施状況：126 【楽習講師編】82回（受講者数：1,284人） 【行政編】44回（受講者数：706人） ●実施された主な講座の内容：消費生活講座、紙バンドで編むかごとバッグ、民話語り、防災のはなし等	活動指標	単位	R4	R5	R6
		出前講座受講者数	人	1,677	2,028	1,990
		出前講座開催数	回	87	114	126
		楽習講師登録者数	人	130	126	107
		事業費計	千円	57	48	49
		一般財源	千円	57	48	49
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	出前講座実施回数は増加傾向にある。出前講座登録メニュー数については、楽習講師編は減少したが、行政編は増加した。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		出前講座実施回数	回	87	114	126	値が大きいほど良い	効果が上がった
		出前講座登録メニュー数	講座	218	216	190	値が大きいほど良い	効果が下がった

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R6とR5の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用は下がった		
	効果が下がった指標数	1指標		費用の増減無し	○	
	指標全体	効果は変わらない		費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

魅力あるボランティア活動として定着するよう、楽習講師の活動の場を広げる必要がある。そのため、出前講座の活用事例の紹介や楽習出前講座の広報を充実させる。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input checked="" type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 広報やホームページ等で出前講座を周知することで、登録講師数・講座利用者数の増加を図るとともに、学習のニーズを把握し新規の利用を促す。また、オンライン講座については、要望があれば対応していく。
---	---

事業名	生涯楽習フォーラム開催事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	1-①	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当あり

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	生涯学習課		生涯学習フォーラム開催事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	生涯学習係				項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	4212	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意の事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		事業期間	開始年度	H29	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり			終了年度	－	事業分類	イベント等開催事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進						
	基本事業	2	学習成果を活かす取組						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	生涯学習社会の実現を目指し、市民が一堂に会して生涯学習のまちづくりや人づくりについて考え、市民の生涯学習活動へのきっかけづくりをするともに、楽習成果の発表の場を提供するイベントの開催。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市民の生涯学習活動のきっかけづくりを提供し、参加・体験することにより、生きがい探しや交流の輪を広げる。学習成果の発表により新たな活動につなげ、地域での学びを活かした活動を促進する。
-------------------------	--

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
楽習講師登録者数	人	170	155	160	165	170
楽習講師が社会へ還元した件数	件	300	310	320	330	340

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	実行委員会を組織して「佐野市生涯楽習フォーラム2025『佐野楽』」を開催。 日時：令和 7 年 3 月 1 日(土)、2 日(日) 場所：佐野市葛生あくとプラザ 内容：1 日 開会式典、基調講演、対談、分科会 両日 楽習フェア、静のアート作品展
--------------------------	--

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R4	R5	R6
延べ参加者数	人	1,000	2,000	1,700
参加して良かったとする割合	%	86	83	82
事業費計	千円	290	278	278
一般財源	千円	290	278	278
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	楽習講師登録者数、楽習講師が社会へ還元した件数ともに減少傾向である。
------------------	------------------------------------

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
楽習講師登録者数	人	130	126	107	値が大きいほど良い	効果が下がった
楽習講師が社会へ還元した件数	件	159	184	173	値が大きいほど良い	効果が下がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数 0指標
	効果は変わらない指標数 0指標
	効果が下がった指標数 2指標
	指標全体 効果が下がった

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し		○
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 6 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

幅広い年齢層の方、より多くの方に参加してもらうため、社会情勢に即した内容が求められる。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 7 年度及び令和 8 年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input checked="" type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 講演会等を魅力的な内容にするともに、周知の方法を工夫し、より多くの方の参加を促す。また、楽習成果の発表の場を提供することにより、生涯学習活動の促進を図る。
---	---

仕事の振り返りシート（令和 6 年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	学童野球・ソフトボール振興会支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	教育部			予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	少年指導センター					款	10	新規or継続	継続事業
	係						項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	4213	名称		根拠法令、条例等	事業期間	目	6	義務or任意	任意の事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		社会教育法（第11条） 佐野市社会教育関係団体 補助金交付要領		開始年度	S60	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり				終了年度		事業分類	支援事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進							
	基本事業	3	青少年の健全育成							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野市学童野球・ソフトボール振興会を通し青少年の健全育成を促進するため、補助金を交付し会の円滑な運営が図れるよう支援を行う。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市学童野球・ソフトボール振興会の円滑な運営と財政の健全化を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		団体の補助金執行率	%	100	100	100	100	100

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	令和 6 年度は活動実績なし	活動指標	単位	R4	R5	R6
		補助団体数	団体	1	1	1
		事業費計	千円	80	80	0
		一般財源	千円	80	80	0
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	学童ソフトボールチームの減少により、令和 6 年度は会の活動を行わなかったため、補助金の交付も行わなかった。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		団体の補助金執行率	%	100	100	0	値が大きいほど良い	効果が下がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断		効果		
効果 (R6とR5の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用は下がった		
	効果が下がった指標数	1指標		費用の増減無し		○
	指標全体	効果が下がった		費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 6 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

少子化により、競技者が減少している。特に、ソフトボールについてはそれが著しく、学童ソフトボールチームの解散により、学童野球・ソフトボール振興会も休止または解散を検討している。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 7 年度及び令和 8 年度の取組

<input checked="" type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 学童野球・ソフトボール振興会の状況により、本事業の在り方自体を検討する。
---	--

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	安足地区青少年育成連絡協議会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	教育部			予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	少年指導センター					款	10	新規or継続	継続事業
	係						項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	4213	名称		根拠法令、条例等	事業期間	目	6	義務or任意	任意の事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		社会教育法（第11条） 佐野市社会教育関係団体 補助金交付要領		開始年度	S49	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり				終了年度		事業分類	参画事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進							
	基本事業	3	青少年の健全育成							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	安足地区青少年育成連絡協議会へ負担金を支出する。
------	--------------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	団体の実施する研修会への参加を通して、青少年の実態や健全育成活動についての情報収集を行う。 また、団体と協力し、佐野市内の携帯電話販売店や図書等販売店に対して、立入調査を実施する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		研修会等の参加回数	回	5	5	5	5	5

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	【市の活動】 ・負担金の支出 ・総会、理事会、研修会への出席（3回） ・立入調査への協力（2回）	活動指標	単位	R4	R5	R6
		研修会等の参加回数	回	5	5	5
	【安足地区青少年育成連絡協議会の活動】 ・総会、理事会の開催 ・研修会、立入調査の実施 ・安足地区少年の主張発表大会の主催（会場：佐野市）	事業費計	千円	32	32	32
		一般財源	千円	32	32	32
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	団体の事業への参加を通して、青少年の実態や健全育成活動についての情報収集を行うことができた。 また、佐野市内の携帯電話販売店や図書等販売店に対して、立入調査を実施することができた。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		研修会等の参加回数	回	5	5	5	値が大きいほど良い	効果は変わらない

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 1 0万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R6とR5の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標		費用の増減無し	○		
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した			
	指標全体	効果は変わらない					

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

引き続き、安足地区青少年育成連絡協議会に参画する。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

仕事の振り返りシート（令和 6 年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	青少年相談事業	実施計画事業or一般事業		一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性		SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	少年指導センター		青少年相談事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係					項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	4213	名称	根拠法令、条例等		目	6	義務or任意	任意の事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり	少年指導センター条例施行規則	事業期間	開始年度	S49	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり		終了年度		事業分類	相談事業	
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進						
	基本事業	3	青少年の健全育成						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	青少年やその保護者を対象に、電話や面接による相談業務を実施する。
------	----------------------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	青少年本人や家族などから相談を受け、その解決策を模索し、悩みごとの解決を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		相談の受理件数	回	5	6	7	8	9

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	保護者による相談を5件受理し、助言指導を行った。	活動指標	単位	R4	R5	R6
		相談の受理件数	回	2	5	5
		事業費計	千円	17	16	20
		一般財源	千円	17	16	20
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	相談に対して、助言指導を行ない、必要に応じて関係機関を案内する等の対応を行った。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		相談の受理件数	回	2	5	5	値が大きいほど良い	効果は変わらない

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R6とR5の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標		費用は下がった		
	効果が下がった指標数	0指標		費用の増減無し	○	
		指標全体	効果は変わらない	費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 6 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

引き続き、チラシや、広報さのでの相談窓口の周知を行い、必要に応じて、青少年やその保護者への相談を実施する。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 7 年度及び令和 8 年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	佐野・芦屋青少年交流事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	生涯学習課		佐野・芦屋青少年交流事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	社会教育係				項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	4213	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり	社会教育法 (第3条、第5条)		開始年度	H6	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり			終了年度		事業分類	教育・指導事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進						
	基本事業	3	青少年の健全育成						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	親善都市である福岡県芦屋町と佐野市（室町時代から「西の芦屋・東の天明」といわれ並び称される茶の湯釜の産地）の小・中学校生及び義務教育学校生が、相互訪問による宿泊研修等を通して交流を図り、お互いの文化を理解し、両市町の交流を促進する。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	親善都市である福岡県芦屋町と佐野市の小・中学校生及び義務教育学校生が、相互訪問による宿泊研修等を通して交流を図り、お互いの郷土の文化を理解し、豊かな心を育み、自己管理能力の向上を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		活動を通し、自己管理能力が向上した参加者	%	100	100	100	100	100

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	会場 : 佐野市内 ほか 参加者 : 13人 事前研修 : 3回 本研修 : 8月7日～8月9日（2泊3日） 活動内容 : デコレーションベーゴマ作り、こどもサミット 佐野らーめん作り体験 等	活動指標	単位	R4	R5	R6
		参加者数	人	0	12	13
		事業費計	千円	0	98	695
		一般財源	千円	0	98	595
		特定財源（国・県・他）	千円			100
		（うち受益者負担）	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	デコレーションベーゴマ作り、こどもサミット、佐野らーめん作り体験などの交流プログラムを通し、参加者の自己管理能力の向上が見られた。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		活動を通し、自己管理能力が向上した参加者	%	0	0	100	値が大きいほど良い	効果が上がった

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用が増加した	※ 1 0万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R6とR5の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用の増減無し			
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した	○		
	指標全体	効果が上がった					

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和6年度は佐野市を開催地として実施した。佐野市開催の場合には熱中症対策を取りつつ、佐野らしさを体験できる交流プログラムの検討が必要である。 次年度は芦屋町を開催地として実施するため、検討事項なし。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

仕事の振り返りシート（令和 6 年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	青少年活動育成促進事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	2-③	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	生涯学習課				款	10	新規or継続	継続事業
	係	社会教育係				項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	4213	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり		事業期間	開始年度	平成14	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり			終了年度		事業分類	教育・指導事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進						
	基本事業	3	青少年の健全育成						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	青少年たちが、話し合いや体験活動を通して交流し、成長していけるよう、青少年同士の連携を支援し、青少年活動の推進、活性化を図る。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	ボランティア活動への理解と関心を深め、地域活動への意欲を高める。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		ボランティアへの理解を深めた参加者の割合	%	100	100	100	100	100

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	青少年ボランティア研修会（全6回） 研修外ボランティア活動（全7回） 期日：令和6年4月～令和7年3月 会場：こどもの国 ほか 研修会及び研修外ボランティア活動の延べ参加者数：267人	活動指標	単位	R4	R5	R6
		本研修開催数	回	6	6	6
		事業費計	千円	52	52	59
		一般財源	千円	52	52	59
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	市主催のイベント等においてボランティア活動を体験することにより、青少年が、ボランティア活動への理解を深めた。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		ボランティアへの理解を深めた参加者の割合	%	100	100	97	値が大きいほど良い	効果が下がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R6とR5の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用の増減無し			○
	効果が下がった指標数	1指標		費用が増加した			
	指標全体	効果が下がった					

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 6 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

本研修において、酷暑下での活動があった。参加者の熱中症を予防するための対策が必要である。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 7 年度及び令和 8 年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 本研修実施時に飲料を配布する。
---	-----------------------------

仕事の振り返りシート（令和 6 年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	二十歳のつどい企画運営事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	生涯学習課		二十歳のつどい開催事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	社会教育係				項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	4213	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり	社会教育法(第 1 1 条)、佐野市社会教育団体交付金交付要領		開始年度	H9	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり			終了年度		事業分類	支援事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進						
	基本事業	3	青少年の健全育成						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	佐野地区・田沼地区・葛生地区の3会場で開催する二十歳のつどいの企画運営について、二十歳のつどい参加対象者を対象に委員を募集し、自らの二十歳のつどいを企画運営することを支援する。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	式典を二十歳の方が自ら企画運営することにより、二十歳のつどいの意義を理解し、二十歳にふさわしい自立心を醸成する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		二十歳のつどい出席率	%	80	80	80	80	80
		自分が成長し自立したと感じる新成人の割合	%	93	94	94	95	95

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	二十歳のつどい企画運営委員数 佐野地区：14人 田沼地区：7人 葛生地区：8人 企画運営委員会会議開催数 佐野地区：5回 田沼地区：5回 葛生地区：5回	活動指標	単位	R4	R5	R6
		企画運営委員数	人	27	28	29
		会議開催数	回	14	15	15
		事業費計	千円	145	145	146
		一般財源	千円	145	145	146
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	29名の企画運営委員の方にそれぞれの会場でのアトラクションの企画および式典、アトラクションの進行を担当していただいた。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		二十歳のつどい出席率	%	80	81	78	値が大きいほど良い	効果が下がった
		自分が成長し自立したと感じる新成人の割合	%	100.0	100.0	97	値が大きいほど良い	効果が下がった

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R6とR5の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標					
	効果が下がった指標数	2指標					○
	指標全体	効果が下がった					

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 6 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

大学進学により、遠方に在住している方でも会議に参加できるよう、会議は対面、オンラインのハイブリッドで行った。 次年度は二十歳のつどいが2会場 2 部制になるが、混乱なく思い出に残る式典を開催できるよう、引き続き企画運営委員と協力・連携していく。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 7 年度及び令和 8 年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

仕事の振り返りシート（令和 6 年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	二十歳のつどい開催事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	生涯学習課		二十歳のつどい開催事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	社会教育係				項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	4213	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり	社会教育法（第5条）		開始年度	S23	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり			終了年度		事業分類	イベント等開催事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進						
	基本事業	3	青少年の健全育成						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	二十歳のつどい対象者に対し、式典の開催、記念品配布、およびアトラクション終了後の記念撮影を実施する。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	二十歳のつどいの式典を実施し、祝い励ます事により、自己の責任を自覚し、社会的義務を意識付ける。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		二十歳のつどい参加率	%	80	80	80	80	80

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	令和7年1月12日開催 佐野会場：佐野市運動公園市民体育館 田沼会場：田沼中央公民館 葛生会場：葛生あくとプラザ 記念品の配布、記念撮影等を行なった。	活動指標	単位	R4	R5	R6
		二十歳のつどい参加率	%	80	81	78
		事業費計	千円	749	782	2,927
		一般財源	千円	749	782	2,927
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	二十歳のつどいを開催し、対象者のうち78%の方に出席いただいた。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		二十歳のつどい参加率	%	80	81	78	値が大きいほど良い	効果が下がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）		費用が増加した		※ 1 0 万円以上の増減により判断		効果				
効果 (R6とR5の 指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	費用 (R6とR5の 指標値増減)			費用は下がった	費用の増減無し	費用が増加した	効果が上がった	効果は変わらない
	効果は変わらない指標数	0指標								
	効果が下がった指標数	1指標								
	指標全体	効果が下がった								

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 6 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和7年度は文化会館、佐野市運動公園市民体育館ともに改修工事で使用できないため、開催方法の検討が必要である。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

<input checked="" type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 民間施設の利用も考慮し、代替案の検討を行なった結果、会場を田沼中央公民館、葛生あくとプラザの2会場2部制に変更して式典を実施することとした。
--	--

仕事の振り返りシート（令和 6 年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	佐野市の青少年とともに育つ市民の会支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ		スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	生涯学習課		青少年とともに育つ市民の会		款	10	新規or継続	継続事業
	係	社会教育係				項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	4213	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり	社会教育法(第11条)、佐野市の青少年とともに育つ市民の会補助金交付要領		開始年度	H23	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり			終了年度	-	事業分類	支援事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進						
	基本事業	3	青少年の健全育成						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	佐野市の青少年とともに育つ市民の会へ補助金を交付することにより、団体の事業活動を充実・安定させ、団体の活動により本市の社会教育の推進を図る。 佐野市の青少年とともに育つ市民の会は、青少年の育成に市民すべてが関心をもち、市の施策や青少年関係団体・機関と連携を図りながら市民総ぐるみの運動を展開し、次代を担う青少年の健全な育成を図ることを目的として、日々活動している。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市の青少年とともに育つ市民の会の円滑な運営と財政の健全化を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		団体の補助金執行率	%	100	100	100	100	100

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	【市の活動】 ・補助金交付 【佐野市の青少年とともに育つ市民の会の活動】 ・理事会、総会、研修会の開催 ・市民の会だよりの発行 ・心豊かな青少年を育む市民のつどい開催 ・小中義務教育学校への親子学び合い事業「ネット時代の歩き方講習会」の支援等	活動指標	単位	R4	R5	R6
		補助団体数	団体	1	1	1
		事業費計	千円	25	25	25
		一般財源	千円	25	25	25
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	支援により、団体の目的である、地域全体での次代を担う青少年の健全育成を図ることができた。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		団体の補助金執行率	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R6とR5の指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標		費用の増減無し		○	
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した			
	指標全体	効果は変わらない					

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 6 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

引き続き補助金の交付と合わせ、適時適切な助言や支援を行う。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 7 年度及び令和 8 年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 「市民の会だより」の発行数の見直しに伴い、事業費全体の見直しを検討する。
---	--

仕事の振り返りシート（令和 6 年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	佐野市小中義務教育学校 P T A 連絡協議会支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	生涯学習課		佐野市小中義務教育学校 P T A 連絡協議会支援事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	社会教育係				項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	4213	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり			開始年度	S52	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり			終了年度	-	事業分類	支援事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進						
	基本事業	3	青少年の健全育成						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	佐野市小中義務教育学校 P T A 連絡協議会へ補助金を交付することにより、団体の事業活動を充実・安定させ、団体の活動により本市の社会教育の推進を図る。佐野市小中義務教育学校 P T A 連絡協議会は、市内の P T A 相互の連絡調整を図り、小学校、中学校および義務教育学校における P T A 活動を通じて、青少年の健全育成と福祉の増進を図り、学校教育・家庭教育・社会教育の充実振興に寄与することを目的として、日々活動している。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市小中義務教育学校 P T A 連絡協議会の円滑な運営と財政の健全化を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		団体の補助金執行率	%	100	100	100	100	100

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	【市の活動】 ・補助金交付 【佐野市小中義務教育学校 P T A 連絡協議会の活動】 ・総会、役員会の開催 ・ P T A 研修会、P T A 研修会（キャリア教育）の開催 ・教育フォーラムの開催等	活動指標	単位	R4	R5	R6
		補助団体数	団体	1	1	1
		事業費計	千円	0	0	250
		一般財源	千円			250
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	支援により、団体の目的である、学校教育・家庭教育・社会教育の充実振興への寄与を図ることをができた。 ※令和 4・5 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響等により開催できない事業があり補助金が不要となったため、変更交付決定により補助金を返納してもらった。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		団体の補助金執行率	%	0	0	100	値が大きいほど良い	効果が上がった

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用が増加した	※ 1 0 万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R6とR5の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用の増減無し			
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した	○		
	指標全体	効果が上がった					

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 6 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

引き続き補助金の交付と合わせ、適時適切な助言や支援を行う。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 7 年度及び令和 8 年度の取組

<div><input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）</div>	取組説明
--	------

仕事の振り返りシート（令和 6 年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	子ども会ジュニアリーダー研修会開催事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	生涯学習課		子ども会ジュニアリーダー研修		款	10	新規or継続	継続事業
	係	社会教育係		会開催事業		項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	4213	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり	社会教育法第5条		開始年度	S50	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり			終了年度	-	事業分類	教育・指導事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進						
	基本事業	3	青少年の健全育成						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	子ども会活動での中心的役割を担う小学校及び義務教育学校5,6年生を対象に、団体行動や自然体験を通じてジュニアリーダーとしての知識や技術を習得し、子ども会活動の進展及び活性化を図るための研修会を開催する。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	研修を通じてジュニアリーダーとしての知識や技術を習得し、子ども会活動の進展及び活性化を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		研修会開催回数	回	1	1	1	1	1

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	日時：6月22日（土）9時～15時 会場：佐野市こどもの国 内容：仲間づくり、危険予知トレーニング、カートドッグづくり、ネイチャーゲーム、リーダーについて 等	活動指標	単位	R4	R5	R6
		研修会参加者数	人	0	0	24
		事業費計	千円	0	0	8
		一般財源	千円	0	0	8
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	参加者アンケートでは、参加者24名のうち、23名が「リーダーについて学ぶことができた」、全員が「参加して良かった」と回答した。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		研修会開催回数	回	0	0	1	値が大きいほど良い	効果が上がった

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断			効果		
効果 (R6とR5の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	費用	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用の増減無し	○		
	効果が下がった指標数	0指標		費用が増加した			
	指標全体	効果が上がった					

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

新型コロナウイルス感染症の影響等により、令和元年度以降事業を実施していなかったため、やや準備不足な面があった。次年度以降についても、佐野市子ども会連合会と連携し、事業を実施していく。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

<input checked="" type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 佐野市子ども会連合会が主体となって実施している事業のため、事業の在り方について検討する。
---	--

仕事の振り返りシート（令和 6 年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	子ども会育成者研修講座開催事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	生涯学習課		子ども会育成者研修講座開催事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	社会教育係				項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	4213	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり	社会教育法第5条		開始年度	S51	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり			終了年度	-	事業分類	教育・指導事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進						
	基本事業	3	青少年の健全育成						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	子どもたちの健全育成と子ども会活動の活性化を図るため、子ども会の育成者・指導者を対象に、育成者・指導者としての基本的な知識や技能を習得する研修会を開催する。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	研修を通じて子ども会の育成者・指導者としての知識や技能を修得し、子どもたちの健全育成と子ども会活動の活性化を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		研修講座開催回数	回	1	1	1	1	1

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	佐野市子ども会連合会との話し合いにより、開催方法や事業内容の見直しを行うことになったため、開催を見合わせた。	活動指標	単位	R4	R5	R6
		研修講座参加者数	人	0	0	0
		事業費計	千円	0	0	0
		一般財源	千円	0	0	0
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)		効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		研修講座開催回数	回	0	0	0	値が大きいほど良い	効果は変わらない

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）		費用の増減無し		※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R6とR5の 指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標					
	効果が下がった指標数	0指標					
	指標全体		効果は変わらない				

費用	費用は下がった		
	費用の増減無し	○	
	費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和 6 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

新型コロナウイルス感染症の影響等により、令和元年度以降事業を実施していない。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和 7 年度及び令和 8 年度の取組

<input checked="" type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 佐野市子ども会連合会が主体となって実施している事業のため、事業の在り方について検討する。
---	--

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	佐野市ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	教育部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	生涯学習課		佐野市ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会支援事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	社会教育係				項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	4213	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり			開始年度	S47	実施方法	直営
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり			終了年度		事業分類	支援事業
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進						
	基本事業	3	青少年の健全育成						
			社会教育法(第11条) 佐野市社会教育関係団体 補助金交付要領						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	佐野市ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会に補助金を交付している。補助金は、この団体の運営費補助としての性格のものである。佐野市ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会はボーイスカウト日本連盟、ガールスカウト日本連盟の諸規定に従い、青少年を育成し、相互の連絡提携を図り、もって地域社会や国際社会に貢献することを目的に設立した団体。
------	---

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会の円滑な運営と財政の健全化を図り、学習で培った知識・技術を社会へ還元できる。
-------------------------	---

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
補助金執行率	%	100	100	100	100	100

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行った主な活動内容)	(市の活動)佐野市ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会に補助金を支出するための手続き(申請書の受理、交付決定、実績報告、補助金交付) (佐野市ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会)佐野市事業に協力、組織の拡充と育成、指導者の育成
--------------------------	---

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R4	R5	R6
補助団体数	団体	1	1	1
事業費計	千円	70	70	70
一般財源	千円	70	70	70
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	佐野市ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会に補助金を支出することにより、活動の充実と青少年の健全育成を図ることができた。
------------------	--

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
補助金執行率	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数 0指標
	効果は変わらない指標数 1指標
	効果が下がった指標数 0指標
	指標全体 効果は変わらない

※ 1 0万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった		
費用の増減無し	○	
費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

青少年の生きる力を育むため、自然体験や集団宿泊体験等の様々なプログラム活動を作成する等、団体のより一層の活性化をめざす。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------